旭川歯科医師会だより㊸

Asahikawa Dental Association

社団法人 旭川歯科医師会

お口爽やかですか

テーマ　旭川歯科学院専門学校について

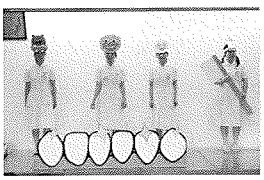
充実したカリキュラムと学校生活「PART3・これからの歯科衛生士のニーズについて」

旭川歯科学院専門学校は旭川歯科医師会が設立する歯科衛生士を養成する専門学校です。平成17年の3年制移行以来、国家試験合格率は100%、就職率も100%を誇り、求人倍率は6倍から8倍に達しています。

歯科衛生士は、歯科医師のアシスタント業務だけ行なう歯科助手とは違い、実際に患者さんに向き合って、予防処置（歯石除去、フッ素塗布など）や保健指導（歯磨き指導、嚥下摂食指導など）を行なう仕事です。

歯科医師が虫歯や歯槽膿漏の治療のスペシャリストであるなら、歯科衛生士は「予防のスペシャリスト」なのです。そのためには旭川歯科学院のような歯科衛生士専門学校での3年間修学の後、国家試験に合格し歯科衛生士の資格を取る必要があります。

歯科衛生士の資格さえあれば、4年制大学の学生の5人に1人が就職できず、就職のためにやむを得ず留年するという時世でも引く手あまた。就職に困ることはないでしょう。歯科医院の規模によっても歯科衛生士の必要な人数は異なってきますが、現在の全国平均では1医院に0・9人と1医院に1人いない計算になります。少子高齢化の到来により歯科の診療スタイルも従来の治療中心から、予防重視に変わりつつあります。「予防のスペシャリスト」の出番なのです。



さらには高齢者・障害者に対する嚥下摂食指導など口腔ケアの分野でもますますその仕事の範囲が広がり、歯科医院のみならず、総合病院、保健所、市町村役場、介護施設など多方面での活躍が期待されます。

歯科衛生士の絶対数が不足している今、既卒の歯科衛生士さんにも協力が必要になってきます。旭川歯科医師会では、一度現役を退いた歯科衛生士さんの職場復帰の手助けとして昨年度よりリカバリー研修事業を行っております。これにより、結婚、子育てなどで一度職場を離れた方でも再就職がよりスムーズになりました。さらに、看護士さんのように、勤務時間が不規則だったり、夜勤があったりということもなく、比較的規則正しい勤務時間で、短時間のパートも可能ですので女性の方の一生の仕事としても最適と思います。

また、近年男性の方で歯科衛生士さんを目指す方も増えていて、全国で活躍しています。本校でも2年生に1名在学中で頑張ってますので、男性の方もぜひトライしてみて下さい。

もっと旭川歯科学院のことを知りたい方は‼

・本年度もオープンキャンパスを実施します。

6月19日、7月24日、9月11日、10月16日の4日間です。

・学校祭に来てください。

10月10日（日）露天・バーラーのほか学術展示、体験実習もあります。

・お電話をいただいて、ご都合の良い日に見学にいらしても結構です。

・旭川歯科学院のホームページも参考にして下さい。